

ゆきしろみず

ヒバの埋没林／猿ヶ森
(2021年11月撮影)

主な内容

- P.1 ごあいさつ、表紙写真の紹介
- P.2 地質調査および周辺整備作業
- P.2 新小田野沢寮(独身寮)増築工事に伴う安全祈願祭
- P.3 東通原子力建設所の紹介 連載企画その2
- P.4 地域の一員として
- P.4 協力企業の皆さまと共に
- P.5 東通村を知りたい

QRコードを使ってアンケートに応募しよう!

ハガキ又はQRコードでお答えいただいた皆さまに粗品をプレゼントいたします。さらに、抽選で10名様に、本誌3ページ掲載の水谷副所長オススメの柏崎市の「最上屋柏崎太鼓」をプレゼントいたします。当選者の発表は発送等をもって代えさせていただきます。



応募締め切り

2022年12月16日(金)



ごあいさつ

日頃より当社事業にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
当社の取り組みを積極的にお伝えするとともに、地域の一員として地域に貢献してまいります。
引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

常務執行役 青森事業本部長 宗 一誠
東通原子力建設所長 太田 武

質問コーナー

Q 青森に来て、始めたことはありますか？

A やっているというレベルでもありませんが、東通に来て「釣り」と「山登り」を楽しむようになりました。釣りは野牛のあたりでアジやサバ等を狙うことが多いです。山も近場で釜臥山、縫道石山、恐山の犬吠山など。いつも食している下北の海と山の恵みを、違った意味でも満喫しています!!



(宗本部長)

A 下北半島の成り立ちや自然、文化について知りたいと思っていた矢先、「第1回下北ジオ検定」という試験が行われることを知りました。
ガイドブックで勉強を始め、何とか合格!下北半島を観光する際の楽しみが増えました!!



(太田所長)



表紙写真の紹介



本号表紙写真のスポットを紹介します。

猿ヶ森地区にあるヒバの埋没林です。
紅葉のとてもきれいな場所です。川の浸食により地表に現れたヒバの年代は、約1,500年前から古いものだと2,000年前のものもあるそうです。
ヒバは本当に腐食に強い木であることが感じられて、とても歴史を実感するスポットですね。



地質調査および周辺整備作業 ～2022年10月現在～

東通原子力発電所の早期の工事再開を目指して、地質調査を引き続き実施しています。

これらの調査により、より安全に優れた発電所設計を追求するとともに、敷地内における用地や設備の将来的な活用のあり方に必要な情報を収集していきます。また、安全性を確保したうえで建設を円滑に進める観点から、建設エリア内における建物、設備等の配置計画の変更も検討していきます。

●ボーリング(掘削)による地質・地質構造の調査

→敷地の地質・地質構造を把握するため、敷地高台エリアを中心に地下のボーリング調査を継続して実施しています。

●試掘坑による地質・地質構造の調査

→2019年1月より試掘坑の掘削を開始し、同年5月からは人が坑内に入って、地下の調査を実施しています。

●敷地内での地震観測

→これまで当社敷地内で実施してきた地震観測に加えて、地下深く(約2,500m)に調査用地震計を追加で設置しました(2022年3月設置完了)。

地下深くからの地震の揺れ方の特性を把握するなど、さらなる知見の拡充を図ります。

●発電所南側ヤードの盛土造成

→建設するために必要な作業エリアを造成しています。造成にあたっては、敷地の中で発生した残土にセメントを混ぜることで、建設に必要な強度を確保しています。

●ボーリングコア収納倉庫の増築

→ボーリングで採取したコアを収納するための倉庫を新たに1棟増築しました。



試掘坑入口(深さ約30m)



盛土造成の様子

(用語解説)

- ◆試掘坑(しくつこう):地質調査のため、地中に掘り進めたトンネル
- ◆ヤード:作業場
- ◆ボーリングコア:地下の地質や地質構造を調査するため、地中をボーリング(掘削)し、岩石を採取した長い円柱状の地質サンプル

新小田野沢寮(独单身寮)増築工事に伴う安全祈願祭

新小田野沢寮(独单身寮)増築工事が、いよいよ始まりました。

2022年9月14日には、安全祈願祭を実施しました。

当日は、好天の下、祭主に田名部神社の宮司様をお迎えし、小田野沢地区会長様を含め、当社ならびに関係者が出席し、とどこおりなく執り行われました。

2023年夏の竣工を目指し、安全第一で施工を進めてまいります。



東通原子力建設所の紹介

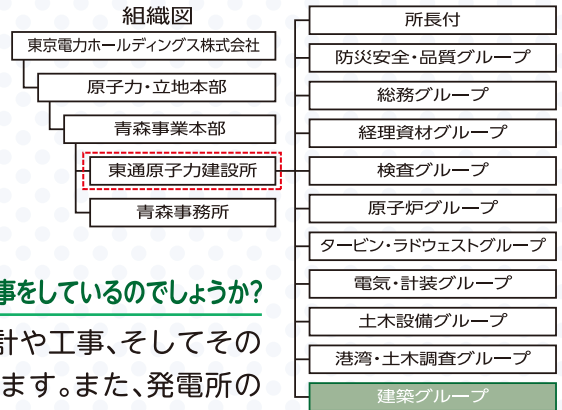
連載企画 **その2**



みずたにひろき
水谷浩之副所長インタビュー

- 出身／埼玉県富士見市
- 自宅／東京都板橋区
- 趣味／山遊び全般（ハイキングや山菜・キノコ狩りからクライミング・雪山登山まで何でも）、サイクリング、ガーデニング

前回から「東通原子力建設所」の業務内容や働く社員について紹介しています。第2回は、水谷浩之副所長にインタビューしながら「建築グループ」を紹介します！



Q. 東通原子力建設所ではどのような仕事をしているのでしょうか？

原子力発電所の様々な建物の設計や工事、そしてその維持管理の計画などを行っています。また、発電所の安全審査に関する申請（設置変更許可申請）の準備も進めています。

Q. 東通村に住んでみて感じたことは？

20年ほど前に仕事で訪れていた頃と比べて、道路をはじめとするインフラが綺麗に整備されましたし、ひとみの里にはスーパーも出来ていてビックリ。大好きな自然が身近にあることを心底幸せに感じています。厳しい冬すらも今から楽しみです！

Q. これからの目標や展望はありますか？

地域の皆様に安心・信頼していただける原子力発電所を建設すべく、日々頑張りたいと思います。また、その為にいち早く地域に打ち解けさせていただかなければと考えています。宜しくお願いいたします！

業務概要

事務所建物の維持管理や建設所敷地内の地質調査・地震観測等を行うとともに、原子力発電所の建設に向け、様々な建物の計画・検討を実施しています。

意気込み

事務所職員が快適に仕事に従事できるよう環境整備をしながら、最新の知見を活かし、安全性に優れた世界最高水準の原子力発電所を建設していきます!!

< 建築グループの皆さん >



市川メンバーのつぶやき

地元の千葉県から東通村に来てちょうど1年が経ちます。登山、山菜採り、スノーボードなど大自然を満喫しています！最高です！



釜臥山の山かけ登山は、想像以上にハードでしたが、全員無事に登頂できました！



東通村に来て一番感動したのは海鮮のおいしさ！食べ過ぎて太らないように気をつけます…。

※撮影のため、一時的にマスクを外しております

地域の一員として

「東通ドン!とボン盆フェスタ」に参加しました(2022年8月14日~15日)

お菓子つかめたかな!



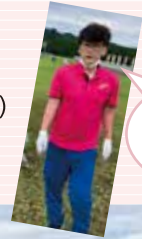
ボン
ボン



盆踊り



花火の後片付けも頑張りました!



「各地区の清掃活動」に参加しました(2022年4月2日~5月1日)



歩道のゴミも見逃しません!



力仕事も任せて下さい!



頑張って綺麗にしました!



協力企業の皆さまと共に

安全衛生大会を開催(2022年7月14日)



国道338号線清掃を実施(2022年10月12日)



東通村を知りたい 「はぐくむ」人にクローズアップ!!地域で頑張っている方を紹介します。

下北ジオパーク推進協議会
きたがわ きりが
北川 桐香 さん



Q1. 簡単にこれまでの経歴を教えてください。

1995年、東通村生まれ。東通中、田名部高校を経て、山形大学理学部、同大学院理工学研究科に進学。専門は岩石学で、学生時代はアフリカ・エチオピアの岩石に関する研究をしていました。2020年4月から下北ジオパークで推進員として働いています。

Q2. 地球科学を学ぶきっかけは？また、魅力は？

東通村小田野沢の出身なのですが、小さいころに「鳴き砂」のことを教えてもらい、砂の観察をしたのが地球科学に興味を持ったきっかけだと思います。宮沢賢治の作品が好きだったのも影響しています。地球科学を学んだことで、どこへ行っても飽きることなく楽しめる力がつきました。下北にいても、旅へ出ても、山や川の形、土地利用のされ方、風の吹く向き、墓石や敷石など、何でもおもしろく観察できます。「何でもおもしろく観察できる」というのが地球科学の魅力かもしれません。

Q3. 現在のお仕事の内容は？

地域の学校での出前講座やガイドの養成、下北をフィールドにしている研究者のサポートなど、仕事内容は多岐にわたります。専門分野を活かして、大地と地域の人々を「つなげる」、地域の魅力を「伝える」ことが仕事です。

Q4. 今後チャレンジしたいことは何ですか？

下北は景観が素晴らしい場所が多いのももちろんのこと、星空が綺麗な場所も多いので、星空観察ができる企画をやってみたいですね。昼は景観を、夜は星空を楽しむキャンプとか…。

出前講座



Q5. 皆さまにひとこと！

下北ジオパークでは、毎月行われる下北郷土芸能公演など、様々な活動をしています。ぜひホームページやFacebook、Instagramをチェックして、機会があったらのぞぎに来てみてください！

公式ホームページ (shimokita-geopark.com)

アフリカ・エチオピアにて



仕事風景



小田野沢海岸 清掃に参加しました (2022年7月2日)

北川桐香さんをはじめ地域の
方々と一緒に
海岸を綺麗に
しました。



綺麗な海岸を見て、
気分爽快



編集後記

2022年4月に広報グループに着任し、本号の編集を担当しました安澤(アンザワ)と申します。小学校の部活動(野球)お手伝いに参加させていただき、子供達と一緒に汗を流し、また、子供達から元気パワーをもらっています!どうぞよろしくお願ひいたします。

(安澤)



※撮影のため、一時的にマスクを外しております